



# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会

2013年 5月 1日発行

No.27

向日市寺戸町辰巳4-1-101号

杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！

ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

## 「核兵器不使用声明」に日本政府が反対 安倍政権の暴走に歯止めを



杉谷伸夫・58才  
向日市議会議員・市民クラブ  
上植野町イトピア在住

4月24日、ジュネーブで開催されたNPT＝核拡散防止条約の会議で、南アフリカを中心とする参加国が「いかなる状況下でも、核兵器が再び使用されないことに、人類の生存がかかっている」と訴える共同声明を取りまとめ、発表しました。当然の内容であり、70カ国以上が賛同しました。ところが唯一の原爆被爆国である日本はこの声明に署名しませんでした。菅義偉官房長官は、その理由を「いかなる状況でも使用しないとしている点が、日本の安全保障政策と相いれない」ためとしました。被爆国の日本が、核廃絶よりも『米国の核に頼る安全保障』を優先し、核兵器使用を容認するとは、世界中の核廃絶の努力を無にするものです。

安倍政権になって、閣僚の靖国神社参拝問題での中国・韓国・アジア諸国との対立など極右的な政策が目立ち、アメリカ政府や欧米マスコミ

も警鐘を鳴らしています。安倍首相の標的は、まず憲法96条を変えて改憲発議要件を緩和し、平和憲法を全面改悪し、日本を『戦争の出来る国』にすることです。許してはなりません。(4月29日・杉谷伸夫)

### 市民の皆さんの声

市民参加でまちをつくる会他より

- 市民生活に密着した政策に取り組んでほしい。駅へのアクセス、歩道の整備などを重視して！
- 市内巡回バスは走らせようと思えばすぐ走らせられるはず。いったい誰が反対しているのか？
- 市内巡回バスの問題に対して議会のつつこみが甘い。いつまでにどうするのか、期限を明らかにすべきだ。
- 市民クラブとして、杉谷議員と飛鳥井議員の話を一緒に聞ける場を持ってほしい。
- 競輪場はどうなるのか？…すぐ廃止にはならない。雇用や経済影響の解決が前提です。
- 競輪場は無くしてほしい。乙訓地域には大きな公園がないので、他地域からも来てもらえるようなりっぱな公園にするのが良いと思う。

### 5月の催し案内

5月例会は、下記の講演会に参加します

■5月11日(土) 午後1:30~4:00

『子どもの声を社会に

～子ども人権オンブズの挑戦』

(向日市民会館・第1会議室)

参加費：300円

主催：5/11講演会実行委員会

洛西高島屋横の河川敷で交流会

■5月26日(日) 11:00~14:00頃

福島原発事故から京都に避難の皆さんと  
焼き肉交流会

参加費：実費(大人1500円程度)

事前参加申し込み要(5月23日締め切り)

主催：洛西向日葵の会

### 連絡先

気軽にいつでも連絡下さい TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-932-1325

メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



## 5/11 講演会

### 『子どもの声を社会に』 子ども人権オンブズの挑戦

5月11日（土）、向日市民会館で「子どもの声を社会へ～子ども人権オンブズの挑戦」という講演会が開催されます。私たちが呼びかけて作った実行委員会の主催です。ぜひご参加下さい。

いじめや不登校は、今やいつ誰でも経験する可能性があります。「普通でなければ生きにくい」「毎日が忙し過ぎて疲れる」「道を外れたら生きるストーリーがない」……。兵庫県川西市の「子どもの人権オンブズパーソン」は、子どもたちの消え入りそうな小さな声に耳を傾け、関係する人々の間をとり結び、具体的に事態の打開を

図って、ときには制度改善にまでつなげていくという、希有な公的個別救済の制度です。

講師の桜井智恵子さんによると、いじめを受けている子どもが一番求めていることは、「自分の気持ちを聞いて理解して欲しい」ということ。オンブズパーソンは、こうした子どもの声に耳を傾け子どもの最善の利益のために活動します。

子どもにとって生きやすい社会は大人にとっても生きやすい社会です。子どもたちを取り巻く問題を知り一緒に考えていきたいと思えます。

■日時：5月11日（土）午後1:30～4:00

■会場：向日市民会館・第1会議室

■講師：桜井智恵子さん（川西市子どもの人権オンブズパーソン前代表）

■参加費：300円（未成年は無料）



## シリーズ

### 「議会を変える！」⑤

#### 市税取り戻す裁判資料の提出要求は 議会多数派が反対し実現せず

3月議会で、北野台裁判(※)の裁判資料を議会に提出するよう私が求めたことに対して市長は、議会として要請があれば検討する旨の答弁をしました。4月に議会の会派代表者会議があり、私が議会として要請するべきであると提案しましたが、2会派から「提出を求める必要はない」との反対意見で、実現しませんでした。

反対した会派・議員は、新政クラブ・永井議員、公明党・石原議員。反対理由は、時期が来れば議会に説明すると市長が言ってるので資料提出を求める必要はない、というもの。

しかし、チェックする側の議会がチェックされる側の市長の説明だけを聞いては、まともなチェックができるわけがありません。自治体議会の最大の役割は、市民を代表して市政をチェックすることです。しかし議会がその役割を本当に果たしているとは思えません。引き続き議会として、また議員個人としてこの裁判の情報公開を求めチェックを続けます。(杉谷伸夫)

(※)北野台裁判・・・北野台の宅地開発に伴う雨水貯留槽の漏水で発生した1億5千万円の損害（市税で穴埋め）を、現在向日市が開発業者に賠償請求している裁判

## 原田ソール・ウォーター争議 を支援する会を結成

西向日駅近くにある(株)原田ソール・ウォーターで働いていた労働者（Aさん）が、会社に対して未払い残業代の請求をした所、会社は報復的にAさんを業務上横領の損害賠償請求裁判に訴えるという、とんでもない行為に出ました。もちろん業務上横領の事実など全くありません。

Aさんは会社に約10年間勤務していた間、休暇は全く取れず、新婚旅行で休んだ時も欠勤扱いで給料から賃金控除されたそうです。Aさん

は地域ユニオンに加入して、未払い残業代の支払いを求めています。会社は途中からいろんな理由をつけて団体交渉に応じていません。

会社が労働者を報復的に裁判で訴えると、いくら会社側の訴えに理が無くても、訴えられた労働者は、多額の裁判費用と精神的負担その他で大変困ります。

このような労働者いじめは許されないと、Aさんの争議を支援する「会」が4月16日に結成されました。私が会長となり、連絡先事務局を「杉谷ひろば」に置くことになりました。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

(杉谷伸夫)

## 4/17市民派議員交流会

### 長岡京バンビオで 開催しました

近畿の市民派議員で年に4回、持回りで交流&学習会を開催しています。今回は87回目。長岡京駅前のバンビオで開催し、私も主催に加わりました。

3つのテーマで講演を聴き、質疑交流しました。

- ①長岡京市での、児童虐待を防ぐ行政と市民グループのネットワークの活動について
- ②「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく支援について
- ③宇治市の認知症予防対策から認知症ケアネットワークの形成について

「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく支援に関する講演では、大阪弁護士会で原発事故避難者への支援活動に取り組む青木佳史弁護士の講演の他、2名の避難者のお話を聞きました。(杉谷)

#### ■「被災者支援法に基づく支援を求める 意見書の採択を！」(青木弁護士)

昨年6月に原発事故子ども・被災者支援法が国会で全会一致で成立したが、安倍政権に代わって、実施のための基本方針が作成されず、棚上げ状態

になっており、多くの被災者が救済されず放置されている。全国各地の自治体議会から、国に対して実施を求める意見書・決議を採択してほしい。

#### ■避難者(森松明希子さん)のお話

5歳と2歳の子どもと、福島県郡山市から2011年5月に大阪に避難してきました。事故直後は、郡山市は原発から60キロも離れているし、危機感がもてないくらい日々のことで一杯でした。5月の連休に初めて福島県外に出て、見たテレビのニュースに愕然。チェルノブイリとの比較を示し、福島は人が住むところではない、というような内容でした。福島で見るテレビは「橋が直った」とか「復興、復興」ばかり。福島をいち早く脱した友人から言われた「福島を一回出てみればわかる」という言葉の意味を理解しました。「ここで子どもを育ててはいけない」母として直感しました。



大阪に避難して来たものの、同じ境遇の避難者がどこにいるのかも何も分かりません。住宅の支援も期限が切られ、先が見通せません。弁護士会など支援団体が主催する催しに参加して知り合った人たちと少しずつつながり、「避難ママのお茶べり会」というネットワークを作り、最近体験手記を自費発行しました。

大阪に避難して来たものの、同じ境遇の避難者がどこにいるのかも何も分かりません。住宅の支援も期限が切られ、先が見通せません。弁護士会など支援団体が主催する催しに参加して知り合った人たちと少しずつつながり、「避難ママのお茶べり会」というネットワークを作り、最近体験手記を自費発行しました。

## シリーズ

## 原発事故④

### 京都市民放射能測定所が 5/19に開設1周年イベント

ジャーナリスト・守田敏也さん講演  
福島市民測定所・阿部宣幸さん講演

5月19日に、市民のキャンパで設立した「京都市民放射能測定所」が開設一周年を迎え、記念イベントを開催します。

福島原発事故による食品の放射能汚染は、国の規制基準がとてもしなやかで、心配です。イベントでは、ジャーナリストの守田敏也さんに「原発事故による放射能汚染と市民測定所の意義」について講演して頂きます。

関西では3月に奈良測定所、5月に西宮測定所がオープンし高槻でも開設準備が進んでいます。当日、関西ネットワーク結成を確認し福島市民放射能測定所の阿部宣幸さんに「福

島の今」と題して記念講演を頂く予定です。

京都の測定所は、福島事故から母子避難してきた方や、お子さんをお持ちの方からの放射性物質の測定を求める声に押されて設立されました。現在「丹波橋測定室」と「四条烏丸測定室」の2ヶ所で測定しています。会員制の有料測定で年会費5,000円(1回分の測定券付き)、測定料2,000円で、一般市民や小規模事業者、民間保育所などから、これまでに多くの食材が持ち込まれ、測定してきました。結果は、ホームページで公開しています(全データは会員のみ閲覧可)。

5月19日のイベントは誰でも参加できます。この機会に一度来てみて下さい。

(京都市民放射能測定所事務局長・佐藤和利)

■日時：5月19日(日)午前10時30分～15時30分

■場所：呉竹文化センター・創造活動室(近鉄・京阪「丹波橋」駅前)その後祝賀会を近くの丹波橋測定室で行います。)

■参加費：会員500円、一般800円

■問合せ先 070-5664-2713(佐藤)



## ゲキカラか文化遺産か (安野洋子)

昨年に続き今年も競輪場で「ゲキカラ」を競う大会があった。昨年は3万人、今年は5万人。テレビでも放映され、向日市が全国的に知られるようになってきているのは悪くないが、「ゲキカラ」だけか。向日町と山崎町は、信長の時代より門前町として有名なところだ。それに平城京から平安京のあいだの10年間長岡京があったのも向日町である。向日町市とすべきところを向日市としたところから、日向市（ひゅうがし・宮崎県）と間違われたりしている。

もっと長岡京の大極殿や朝堂院跡等の文化遺産を強調すべきではないか。隣の長岡京市が長岡京の本家のように誤解している人が多いが、長岡京市は長岡京の南の外れにすぎない。向日市は「競輪」の次は「ゲキカラ」だけかと西向日町に生まれ育ったものとして残念に思う。



## 切られた小畑川の木々 (涸沢)

里山に現れた熊やいのししが処分されたというニュースを耳にすると、とても心が痛むのですが、直接人間に手を出すことはないと思われた植物でさえ処分されていくのを知り、悲しくなっていました。

実は3月末、小畑川に植えられていた（あるいは自生していた）たくさんの木々が、水害の際に人間に害を及ぼすということで、切られてしまったのです。乙訓土木事務所に夫が問い合わせましたが、法で定められており、水害を防ぐために仕方ないとのこと。自然と人間の共存は、人間の都合によって行われていることを、改めて思い知らされ、けれども人間も自然の一部、何とかしなければと思います。

朝堂院公園と案内所



## 連載 ポイント解説 向日市の歴史

鈴木 健弘

### 第20回 長岡 (11)

遅々として進まない長岡京建都の現実。『長い幸せをつくる岡』への思いはスタッフの焦りと意欲の後退を誘ったことであろうと推察できる。多くの古墳に眠る先代たちを意識しながら解決の強い手立てもなく、苦悩の連続の日々であったことであろう。

他方、一部のスタッフの調査報告に、さらに北東に広大な盆地がある旨の情報を得て、より綿密な調査を開始したものと推察される（元より熟知のことと思われるが更に詳細にとの思いで）。ここに平安京とする新都の構想が開けて

来る。特に聖徳太子に仕えた秦河勝（はたのかわかつ）が603年、今の太秦へ来て蜂岡寺（広隆寺）の建立、太秦周辺に広がる機織りを主とする集落が広まり、新しい農業の技術、生薬の製造等渡来人の優れた技術が生かされている界限、一方周辺の美しい自然、東方には軋の森の賀茂御祖（かもみおや）神社等を見学し、さらに比叡山延暦寺が788年（延暦7年）最澄により開基され、この辺りから山と緑、美しい河川などを含めて、長岡京建設の意欲が薄らいできたように思われるが、本意は誰にも判らない。

そして、秦氏の財政的バックアップも外せない。秦漢系文化をもって南朝鮮経由渡来した漢人たちの数々の高度の技術の中で、特に目を引くのは漢方薬の製法であろうか。京都には今もそれを伝える老舗が残る。油小路通仏光寺下ル『太子山奇応丸本舗 秦商店』当主 秦与兵衛氏、先代には学会でお世話になりましたが、百代近く続く日本にただ一つの老舗である。

柔軟な、かつ優れた視界を新しい建都に向けて英断を下した桓武天皇は、歴代多くの天皇の中でも英君のトップクラスの一人と考える。